



ラフレイス

～笑顔あふれる場所～

中学生版

2023.12月、2024.1月号

南島原市深江図書館

☎ 0957-73-6717

皆さん、こんにちは。

冬休みは楽しいイベントが続きますね。なにかと慌ただしい日々の中、本業の学習タイムを確保するのも後回しとなることもあるかと思えます。本を手取る時間は、さらに後回しということに・・・？ 第67回学校読書調査の結果によると、中学生が1か月に読んだ平均冊数は、4.7冊だそうです。さて、みなさんはこの冊数と比べてどうでしょう？ 今回は下に2023年の貸し出しベスト5と、新しく入った本を紹介しましたので、まずは、「月5冊読破」にチャレンジしてみませんか。



少し早いですが、今年も一年間 ラフレイスを読んでいただき、ありがとうございました。健康で、充実した冬休みを過ごしてくださいね。

2023年のベスト5

- 1位「鬼の花嫁 新婚編 2」
クレハ／著 スターツ出版／出版
- 2位「わたしの幸せな結婚 2」
顎木 あくみ／著 KADOKAWA／出版
- 3位「君が、この優しい夢から覚めても」
夜野 せせり／著 スターツ出版／出版
- 4位「薬屋のひとりごと 13」
日向 夏／著 主婦の友インフォス／出版
- 5位「心霊探偵八雲
INITIAL FILE 幽霊の定理」
神永 学／著 講談社／出版



新しく入った本

- 「13歳からの対話力」
田村 次朗／監修 くもん出版／出版
- 「中高生のソフトテニス」
柴田 章平／著 パースポーツマガジン社／出版
- 「さみしい夜にはペンを持って」
古賀 史健／著 ポプラ社／出版
- 「サクラサク、サクラチル」
辻堂 ゆめ／著 双葉社／出版
- 「お金と僕らの物語」
佐々木 裕平／著 Gakken／出版
- 「ひとりぼっちの夜は、
君と明日を探しにいく」
永良 サチ／著 スターツ出版／出版

<ちよこっと雑学>お正月、おせち料理を囲むことが少なくなった昨今、みなさんは重箱の中の食べ物どんな意味をもっているかについて、知っていますか？ いくつか紹介すると、「黒豆」の黒は魔除けの役目で、その年の邪気を払い、マメに暮らせるように。「数の子」は子孫繁栄を願って。「栗きんとん」のきんとんは「金団」と書き、黄金色のかたまりで財運を祈ります。

「昆布巻き」は昆布が「喜ぶ」に通じるため、縁起のいい料理です。最後に「かまぼこ」について。紅白のかまぼこは、形が日の出に似ていることから、元旦の初日の出を祝うためです。

おせち料理の一つ一つに、今年も幸せに生きていけますようにという年神様への願いが込められているのですね。みなさんの新しい年が健康で幸せな一年になりますように！

「陰陽五行でわかる日本のならわし」長田なお／著 より



12月と1月の休館日とお知らせ

★市内の図書館から本を取り寄せるための巡回車の曜日が、水曜日と日曜日から水曜日と土曜日に変わりました。

★12月4、11、18、25（各月曜）と28日（図書整理日）

1月8、15、22、29（各月曜）と25日（図書整理日）

★12/29（金）～1/3（水）は年末年始のため休館します。お正月休み用の本やDVDなど、早めに借りに来てくださいね。